

RS-232C⇔422/485変換ユニット KS-10PT-HS/KS-485PT

FA現場での通信に幅広く対応！【RoHS対応】

KS-10PT-HS

RS-232C/RS-422変換ユニット、AC電源回路内蔵

本体価格：30,000円（税別）

※従来製品KS-10PTの伝送速度アップバージョンです。

（KS-10PT最大伝送速度＝19.2kbps）

伝送速度以外は従来製品と全く変更ありません。



RoHS

KS-485PT

RS-232C/RS-485変換ユニット、AC電源回路内蔵

本体価格：32,000円（税別）



RoHS

オプション
ケーブル

	(税別価格)
CBL15(PC-9801接続用RS-232Cケーブル、1m).....	6,500 円
CBL16(IBM9ピン機器接続用RS-232Cケーブル、1m).....	8,500 円
CBL17(IBM25ピン機器接続用RS-232Cケーブル、1m).....	8,500 円
ツイストペアケーブル(RS-422/485側延長ケーブル、長さは指定による、先バラ).....	特注対応

【KS-10PT-HSの特長】

KS-10PT-HSはRS-232CとRS-422を双方向に変換する端子台タイプの信号変換ユニットです。2台使用することにより遠距離に有るコンピュータとの通信を行ったり、RS-232Cで出力される各種ユニットのデータを長距離伝送することが可能です。また、高電圧対策としてRS-422側にサージアブソーバを装備し、抜群の現場耐久性を発揮します。

【KS-485PTの特長】

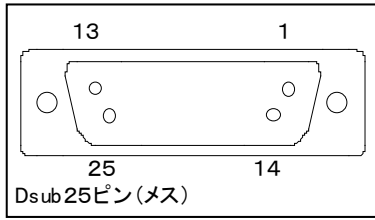
KS-485PTはRS-232CとRS-485を双方向に変換する端子台タイプの信号変換ユニットです。複数台使用することにより簡単なLAN通信を行ったり、RS-232Cで出力される各種ユニットのデータを収集・制御することが可能です。また、複数台の接続を容易にするため、RS-485側の端子を3組装備しました。

【仕様】

型名		KS-10PT-HS	KS-485PT
RS-232C インターフェース	最大伝送速度	115.2kbps(伝送距離によって異なる)	115.2kbps
	最大伝送距離	15m	
	出力	3kΩ負荷にて±5V以上	
	入力	入力抵抗3kΩ以上、入力感度±3V以上	
RS-422 RS-485 インターフェース	最大伝送速度	115.2kbps(RS-232C側制約による)	115.2kbps(RS-232C側制約による)
	最大伝送距離	1.2km	
	出力	平衡型100Ω負荷にて±2V以上	
	入力	平衡型終端抵抗100Ω内蔵 入力感度±200mV以上	平衡型入力抵抗12kΩ以上 入力感度±200mV以上
	接続ユニット数	1:1、最大1:10	1:32
	線材寸法	〔より線〕 1.5mm ² 以下、サイズAWG16まで 〔単線〕 2.5mm ² 以下、サイズAWG14まで	
電源	AC100V(50/60Hz)、5W以下		
外形寸法(突起部含まず)	100(W)×108(D)×30(H)mm〔突起部含まず〕		
重量	約500g		

【KS-10PT-HS/KS-485PTの入出力ピンアサイン】

●KS-10PT-HS/KS-485PTのRS-232C側



※ネジ M2.6

ピンNo.	名称	信号の方向	信号の役割および処理
1	FGフレームグラウンド		フレームグラウンドに接続
2	RD受信データ	入力	RS-232CのTxDからデータを受信
3	SD送信データ	出力	RS-422/485からのデータを変換し、RS-232C側へ出力
4	CS送信可	入力	DTEのRTSから制御信号を受信し、RS-422/485側へ出力
5	RS送信要求	出力	KS-10PT-HSの場合、制御信号をDTEのCTSへ送信
	CS送信許可	出力	KS-485PTの場合、ホストコンピュータ側へ送信不可を出力
6	ERデータターミナルレディ	出力	DR信号を折り返しホストコンピュータ側へ出力
7	SGシグナルグラウンド		GNDに接続
8	CDキャリア検出	出力	DRに入力された信号を折り返しDTEのDCDへ出力
20	DRデータセットレディ	入力	ER(6ピン)と内部接続
24	TCタイミングクロック	入力	KS-485PTのみ使用

※RS-232C側はD sub 25ピン(メス)になります。コンピュータとはストレートケーブルで接続できます。

●KS-10PT-HSのRS-422側

端子台	名称	信号の方向	信号の役割および処理
DATAOUT+	送信データ	出力	RS-232C側のRDからのデータをRS-422に変換して出力
DATAOUT-	送信データ	出力	RS-232C側のRDからのデータをRS-422に変換して出力
CONTOUT+	制御出力	出力	RS-232C側のCSからの制御信号をRS-422に変換して出力
CONTOUT-	制御出力	出力	RS-232C側のCSからの制御信号をRS-422に変換して出力
DATAIN+	受信データ	入力	RS-422側のデータを受信し、RS-232C側のSDへ出力
DATAIN-	受信データ	入力	RS-422側のデータを受信し、RS-232C側のSDへ出力
CONTIN+	制御入力	入力	RS-422側の制御信号を受信し、RS-232C側のRSへ出力
CONTIN-	制御入力	入力	RS-422側の制御信号を受信し、RS-232C側のRSへ出力
FG	フレームグラウンド		通常は未使用
SG	シグナルグラウンド		GNDと接続

●KS-485PTのRS-485側

端子台	名称	信号の方向	信号の役割および処理
TRD+(A)	送受信データ	入出力	データホットを送受信(内部でB・Cと接続)
TRD-(A)	送受信データ	入出力	データコールドを送受信(内部でB・Cと接続)
SG(A)	シグナルグラウンド		GNDに接続
TRD+(B)	送受信データ	入出力	データホットを送受信(内部でA・Cと接続)
TRD-(B)	送受信データ	入出力	データコールドを送受信(内部でA・Cと接続)
SG(B)	シグナルグラウンド		GNDに接続
TRD+(C)	送受信データ	入出力	データホットを送受信(内部でA・Bと接続)
TRD-(C)	送受信データ	入出力	データコールドを送受信(内部でA・Bと接続)
SG(C)	シグナルグラウンド		GNDに接続
FG	フレームグラウンド		通常は未使用

■接続例

